



環境経営レポート2019

報告期間：2019年 6月 1日 ~ 2020年 5月 31日

VAIO株式会社

発行日：2020年 8月 31日



目次

1. 会社概要	3
2. 環境活動組織	4
3. 環境経営理念・環境経営方針	5
4. SDGs への貢献	6
5. 製品環境活動	7
6. サイト環境活動	12
7. 取り組み事例	16
8. 環境コミュニケーション	21
9. 環境教育・緊急時対応訓練	23
10. 社会貢献活動	24
11. 使用済み製品のリサイクル	26
12. 環境関連法規制の遵守評価	27
13. 環境マネジメントレビュー	28

1. 会社概要

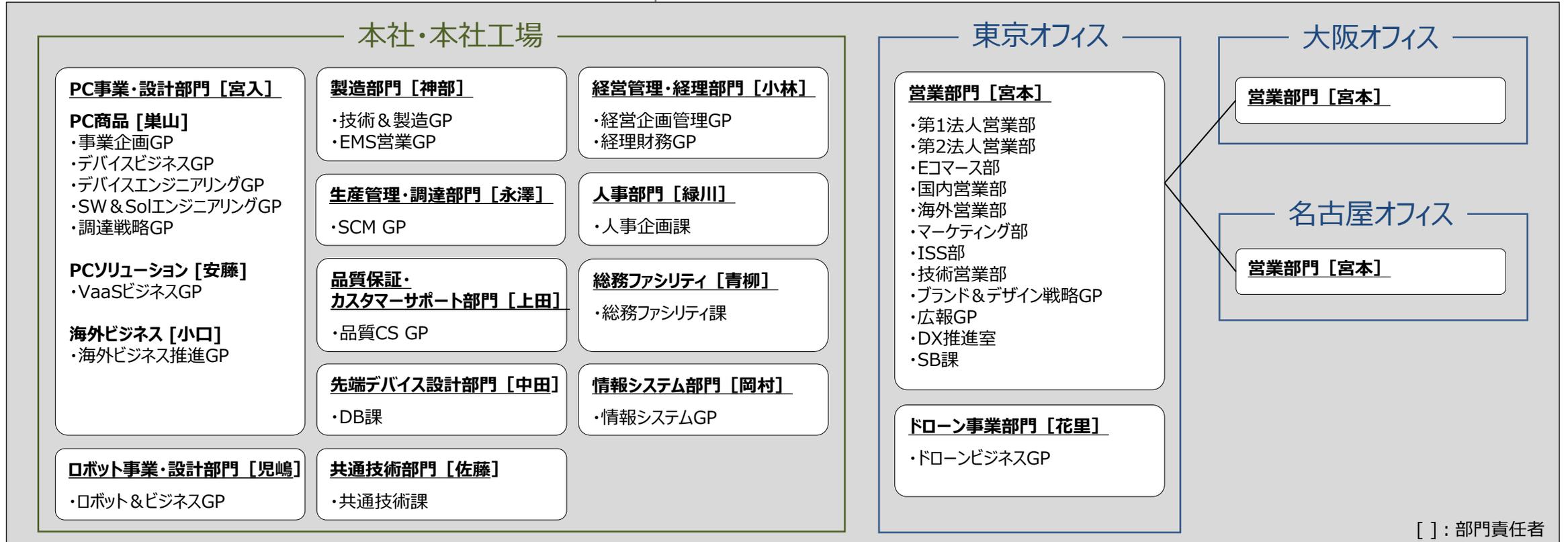
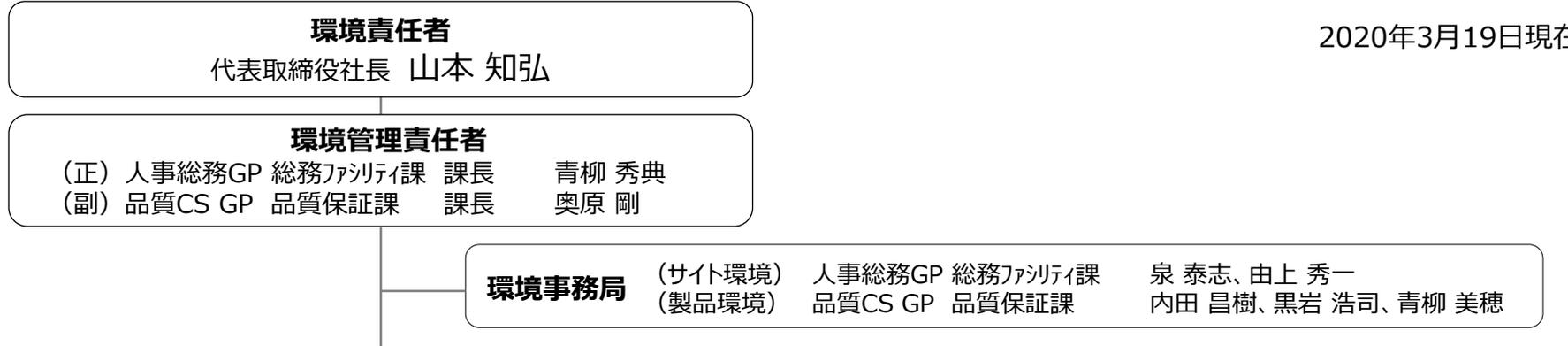
会社名	VAIO株式会社		
設立日	2014年7月1日		
代表取締役社長	山本 知弘		
本社・本社工場	〒399-8282	長野県安曇野市豊科5432	TEL : 0263-87-0810 (代表)
東京オフィス	〒140-0002	東京都品川区東品川4-12-6 日立ソリューションズタワーB14階	TEL : 03-6420-0960 (代表)
大阪オフィス	〒550-0002	大阪府大阪市西区江戸堀2-1-1 大阪江戸堀センタービル9階	TEL : 06-6225-1610 (代表)
名古屋オフィス	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄3-2-3 名古屋日興証券ビル4階	TEL : 052-269-8028 (代表)
URL	https://vaio.com/top/		
事業内容	PC事業、受託事業 (EMS事業) : 企画、設計、開発、製造および販売と、それに付随するサービス		
事業年度	6月～5月		
資本金	1,500百万円		
	本社・本社工場	東京オフィス他	
従業員数	351人	62人	(派遣社員等含む)
延床面積	30,486m ²	702m ²	
環境責任者	山本 知弘		
環境管理責任者	(主) 青柳 秀典	(副) 奥原 剛	
環境事務局	(サイト環境) 泉 泰志、 由上 秀一	(製品環境) 内田 昌樹、 黒岩 浩司、 青柳 美穂	



2. 環境活動組織

VAIO株式会社における環境経営は、全組織、全事業活動を対象範囲としています。

2020年3月19日現在



[] : 部門責任者

3. 環境経営理念・環境経営方針

【環境経営理念】

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、永く世界のお客様に愛される商品づくりを目指していきます。

【環境経営方針】

1. 環境に配慮した製品・サービスを提供し、お客様の環境負荷低減及びSDGs の達成に貢献します。
2. 働きやすい環境の整備、エネルギー使用の合理化により、CO2排出量を削減します。
3. 資源の有効利用、リサイクル化推進により、廃棄物を削減します。
4. 化学物質の適正管理を行い、人と環境への悪影響を削減します。
5. 水使用量の削減に努めます。
6. グリーン購入・調達を継続実施します。
7. 環境関連法規制等を遵守します。
8. 環境経営の継続的改善を実施します。

環境経営方針は全社員に周知し、全員参加で自主的・積極的に取り組みます。
また、環境経営方針は社外にも公表します。

制定日：2015年 1月 28日

改定日：2019年 8月 27日

VAIO株式会社
代表取締役社長 山本 知弘

4. SDGs への貢献

2019年度は、SDGs の 17ゴールに対して、
9ゴールに貢献しています。

✓：貢献中



	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 成長・雇用	9 イノベーション	10 不平等	11 都市	12 生産・消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段
製品環境	本体重量削減											✓	✓		✓		
	消費電力削減（オフ時、年間）						✓						✓				
	PVC, BFR, ハロゲンのフリー化					✓									✓		
サイト環境	CO ₂ 廃出量削減						✓					✓	✓		✓		
	廃棄物排出量削減、リサイクル率向上						✓					✓	✓		✓		
	水道使用量削減					✓						✓					
	グリーン購入率向上															✓	
部署の活動	働き方改革（早残・ノー残、テレワーク、有給休暇奨励日、男性育児休暇導入）				✓		✓	✓									
	業務効率改善（CAD環境更新、サーバなどのリプレース、ムダ取り）						✓					✓	✓				
	部品・材料の余剰リスク回避						✓						✓		✓		
	ドローン事業の立ち上げ								✓	✓							
	環境配慮製品の拡販、品質改善							✓				✓	✓				
	外部とのコミュニケーション、イノベーション、社会貢献活動				✓			✓				✓	✓				

5. 製品環境活動

目標設定

PC製品における環境目標は、2014年度を基準年度とし、2020年度までに達成すべき目標を設定しています。

また、2020年度に至る各年度目標は、2020年度目標をバックキャストして設定しています。



VAIO® SX12
VAIO® Pro PJ
(2019年7月発売)



VAIO® S15
VAIO® Pro PH
(2019年11月発売)



VAIO® SX14
(2020年1月発売)



VAIO® SX12
(2020年1月発売)

2019年度の結果

活動テーマ	取組項目	対象	単位	2019年度		評価
				目標	実績	
資源の有効利用	製品本体重量の削減 (インチ当たり)	モバイルPC	Kg/in.	0.081 以下	0.073	○
		A4フルノート	Kg/in.	0.148 以下	0.141	○
エネルギー使用の合理化	年間消費電力の削減 (インチ当たり)	モバイルPC	kWh/in.	1.37 以下	1.19	○
		A4フルノート	kWh/in.	1.61 以下	1.36	○
	オフ時消費電力の削減	全てのPC	W	0.5 以下	0.27	○
懸念化学物質の削減	PVCフリー・BFRフリー・ ハロゲンフリー化	全てのPC	%	100	100	○

※当該年度に発売を開始したモデルの平均値を示しています。

※年間消費電力は、国際エネルギースタープログラム（平成31年2月1日基準）による標準年間消費電力量（E_{TEC}）です。

※オフ時消費電力は、国際エネルギースタープログラム（平成31年2月1日基準）によるオフモード消費電力（P_{OFF}）です。

※インチあたりとは、PCの画面サイズ（型＝インチ）で除した値です。

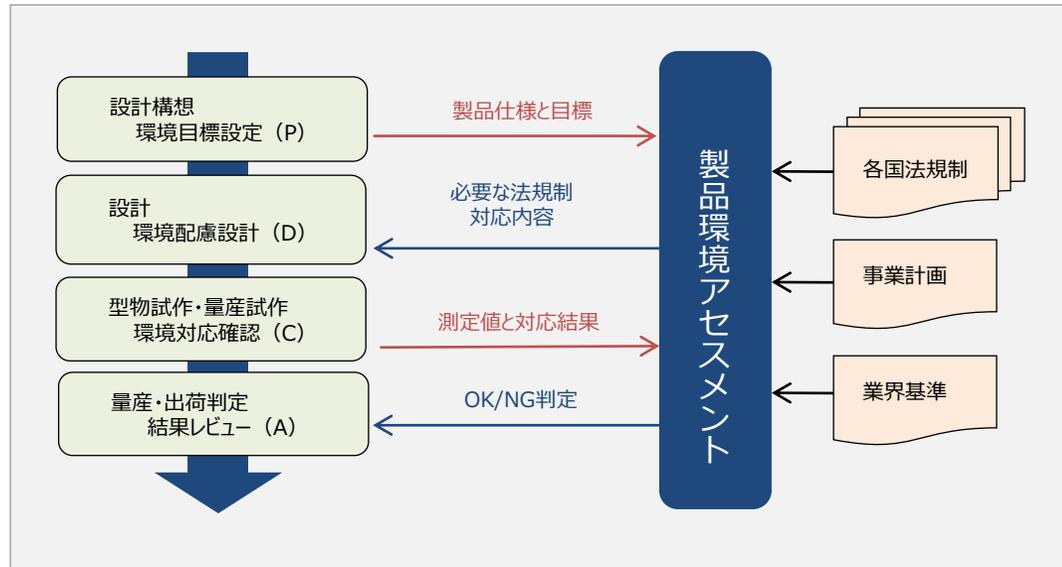
製品環境アセスメント

VAIO株式会社では、製品における環境配慮設計と環境法規制を遵守するため、「製品環境アセスメント」を実施しています。

製品環境アセスメントは、設計部門が行う商品化プロセスにおいて、環境目標設定(Plan)、環境配慮設計(Do)、環境対応・環境法規制遵守確認(Check)、および結果のレビュー(Action)のすべての段階で活用することができるものです。

2019年度も、全モデルの製品環境アセスメントを実施し、環境目標の達成度、自社基準および環境法規制を遵守していることを確認・評価しています。

VAIO株式会社における商品化プロセスと製品環境アセスメントの役割



VAIO® SX12
VAIO® Pro PJ
(2019年7月発売)



VAIO® S15
VAIO® Pro PH
(2019年11月発売)



VAIO® SX14
(2020年1月発売)



VAIO® SX12
(2020年1月発売)



Type-C
ドッキングステーション
(2020年1月発売)

製品環境アセスメントにおける評価項目

1. 環境関連物質の管理
 - 1.1 ハロゲンフリー対応
 - 1.2 PVCフリー対応
 - 1.3 アレルギーへの配慮
 - 1.4 シックハウス症候群への配慮
 - 1.5 電池の環境管理物質管理
 - 1.6 水銀フリー対応
 - 1.7 化審法・CLP
 2. 3R推進
 - 2.1 リデュース
 - 2.2 リユース
 - 2.3 リサイクル
 3. 省エネルギー
 - 3.1 ACアダプターの国際効率レベル
 - 3.2 搭載している省電力機能
 - 3.3 オフ時消費電力
 - 3.4 年間消費電力
 - 3.5 バッテリーライフ
 4. 包装
 - 4.1 包装材料
 - 4.2 印刷用インク
 - 4.3 包装材の廃棄容易性
 - 4.4 包装材重量・サイズ
 5. 取説・情報提供
 - 5.1 開示情報と説明内容
 - 5.2 附属書類（紙・インク・重量）
- 各仕向け法規制確認
- ・本体表示
 - ・取説表示
 - ・包装表示
 - ・認証と登録
 - ・環境管理物質

製品本体重量の削減

モバイルPC

モバイルPCの「製品本体重量の削減」は、2019年度目標を達成しました。

VAIO SX12 / VAIO Pro PJ / VAIO SX14 では、本体構造・素材の徹底的な見直しによって、軽量化に成功しました。

12.5型ディスプレイを搭載した VAIO SX12 / VAIO Pro PJ は、毎日持ち歩いても苦にならない、約887g*¹の軽量&堅牢ボディを実現し、

VAIO SX14 は、14.0型ディスプレイ搭載にも関わらず、約999g*²の超軽量ボディを実現しています。

*1 VJS12290211B/311B/411T *2 VJS14290311B/0411T

モバイルPC平均 / 本体重量 (インチあたり)



A4フルノート

A4フルノートの「製品本体重量の削減」は、2019年度目標を達成しました。

VAIO S15 / VAIO Pro PH は、

- 従来モデル (15.5型) よりも軽量な15.6型ディスプレイを採用
- 内蔵バッテリーパックの軽量化
- 構造のシンプル化
- 部品点数の削減

などの対応を行うことで、インチ当たりの製品本体重量の削減に成功しました。

A4フルノート平均 / 本体重量 (インチあたり)



年間消費電力の削減

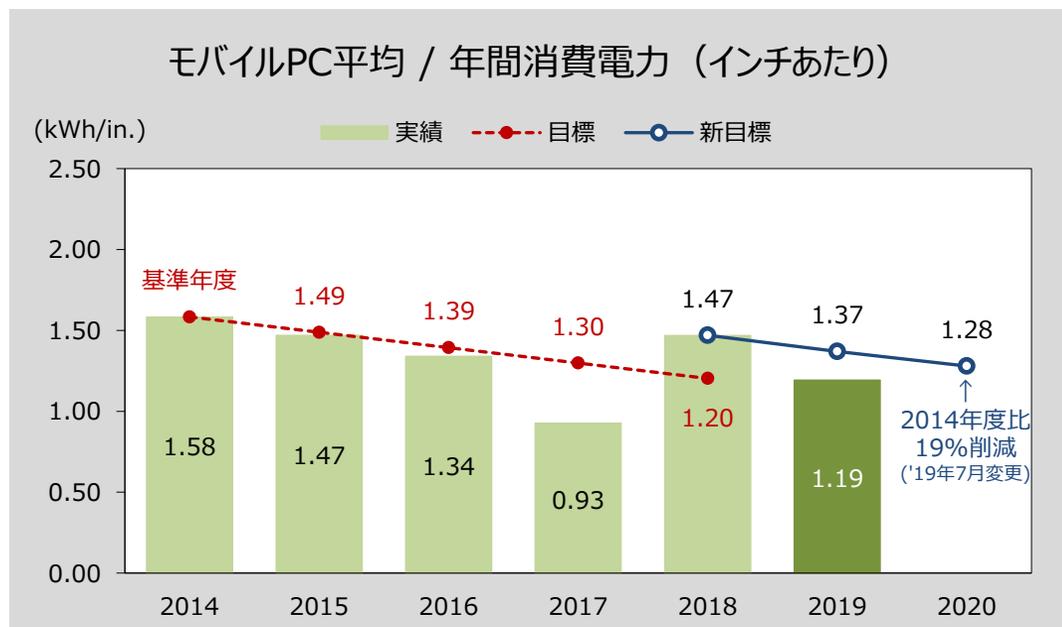
モバイルPC

モバイルPCの「年間消費電力の削減」は、2019年度目標を15%以上達成する結果となりました。

VAIO SX14 / VAIO SX12 / VAIO Pro PJ では、第10世代6コアCPUの採用と、VAIO独自のチューニング「VAIO TruePerformance®」により、PCの処理能力を従来モデル比で約140%*と大幅に向上させました。

また、VAIO SX14では、低消費電力LCDを採用することにより、バッテリー駆動時間が従来モデル比で約181%*と大幅な向上となる低消費電力化を達成しました。

* VJS14190211T/311B/411T と VJS14290211B/311B/411T との比較



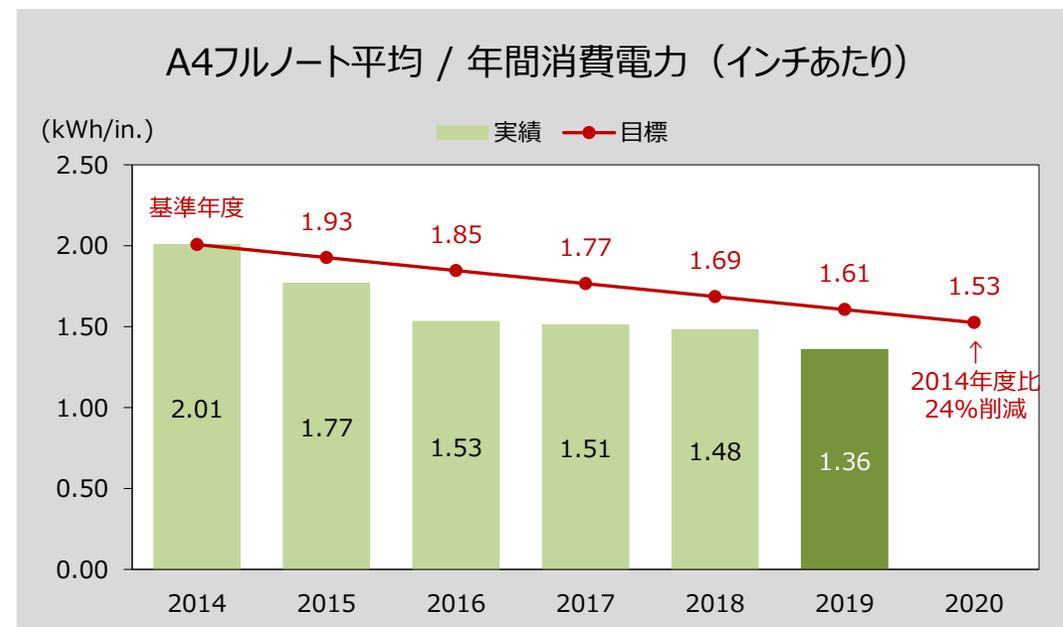
A4フルノート

A4フルノートの「年間消費電力の削減」は、2019年度目標を達成しました。

VAIO S15 / VAIO Pro PH は、

- デSKTOPPCに迫る超高速ヘキサコア (6コア/12スレッド) プロセッサ搭載
- 広く使えて細部もくっきり見える15.6型4k高品質ディスプレイ搭載
- Ultra HDブルーレイ対応の次世代光ディスクドライブ搭載

など、パワフルで大画面高精細な持ち運べるデスクトップを実現しながらも、緻密な電力コントロールを行うことで、さらなる低消費電力化を達成しました。



オフ時消費電力の削減

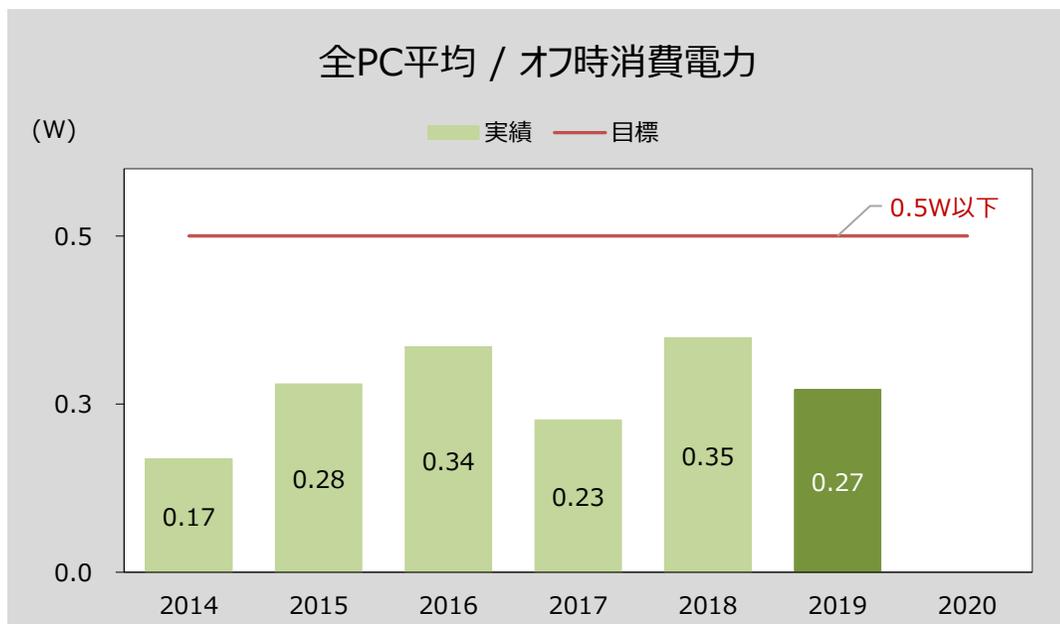
すべてのPC

すべてのPCを対象とした「オフ時消費電力の削減」は、2019年度目標を達成しました。

すべてのPCにおいて、

- 電源オフ時のリーク電流確認
- 電源オフ時のEC省電力機能実装

を行い、オフ時消費電力0.5W以下という極めて高いレベルの目標を継続達成しています。



PVCフリー・BFRフリー・ハロゲンフリー化

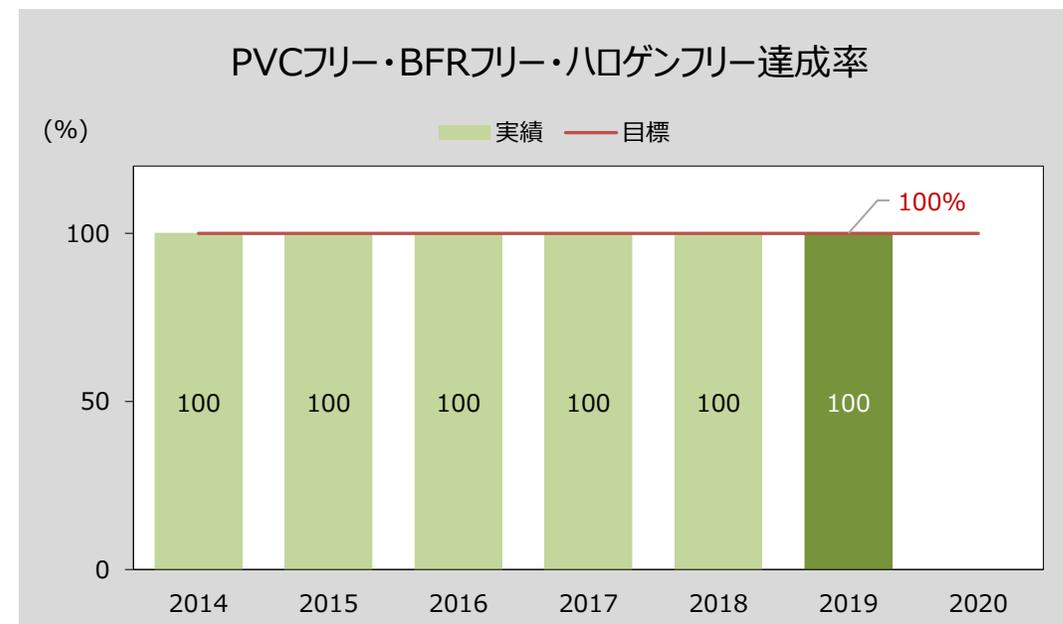
すべてのPC

すべてのPCを対象とした「PVCフリー・BFRフリー・ハロゲンフリー化」は、2019年度目標を達成しました。

すべてのPCにおいて、

- 機器内部で使用しているハーネス被覆材のPVCフリー化
- 20g 以上の樹脂筐体のBFRフリー化
- 20g 以上の基板のハロゲンフリー化

を実施し、達成率100%を継続しています。



6. サイト環境活動

目標設定

サイト環境におけるCO₂排出量および廃棄物排出量は、事業規模による変動があるため、売上げに対する排出量の比率（排出量/売上）で算出し、さらに2016年度の実績を『100』として換算した原単位を用いています。2016年度を基準年度とし、2017年度以降は年2ポイントずつ削減することを目標としています。

2019年度の結果

取り組み	単位	2019年度		
		目標	実績	評価
CO ₂ 排出量の削減	原単位	94 以下	63	○
廃棄物排出量の削減	原単位	94 以下	77	○
リサイクル率の向上	%	90.0 以上	91.2	○
水道使用量の削減	m ³	13,272 以下	12,162	○
グリーン購入率の向上	%	90.0 以上	96.8	○

※原単位について：売上げに対する排出量の比率（排出量/売上）で算出し、さらに、2016年度の実績を『100』として換算したものです。

※電力の二酸化炭素排出係数：本社・本社工場：0.000485 t-CO₂/kWh（中部電力2016年度実排出係数），東京オフィス：0.000486 t-CO₂/kWh（東京電力パワーグリッド2016年度実排出係数）

CO₂排出量の削減

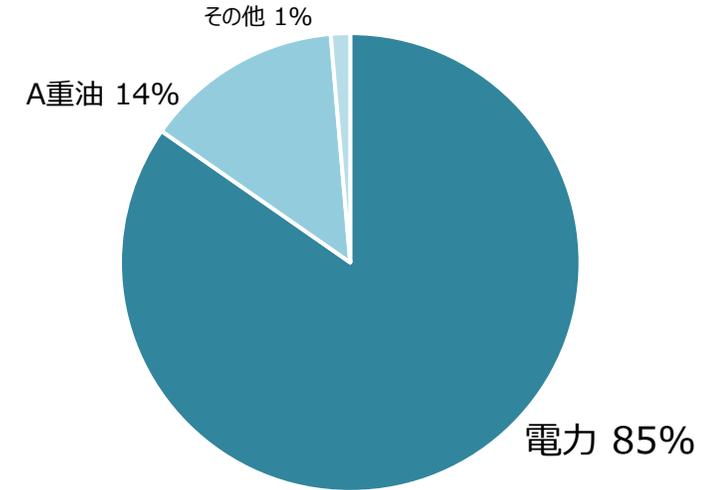
全社（本社・本社工場 + 東京オフィス他）

全社における「CO₂排出量の削減」は、2019年度目標を達成しました。

- 温度管理の徹底（冬20℃、夏28℃）：本社・本社工場、東京オフィス
- 内外温度を確認し外気の取り込みにより温度調整：本社・本社工場
- 高効率ボイラーの導入：本社・本社工場
- 製造エリアの断熱壁設置および照明のLED化：本社・本社工場

結果	本社・本社工場	1,667 t-CO ₂	97.5%
	東京オフィス他	29 t-CO ₂	2.5%
	合計	1,696 t-CO ₂	100%

2019年度 CO₂排出要因内訳



CO₂排出量（原単位）



全社における「CO₂排出要因の内訳」は、

1. 電力 85%
 2. A重油 14%
 3. その他 1%（LPガス、社有車燃料、灯油）
- と、昨年度とほぼ同等でした。

その他（LPガス、社有車燃料、灯油）は、全体に占める割合が1%と小さいため、削減目標は設定せず監視項目としています。2019年度は異常値の発生はありませんでした。

廃棄物排出量の削減

全社（本社・本社工場 + 東京オフィス他）

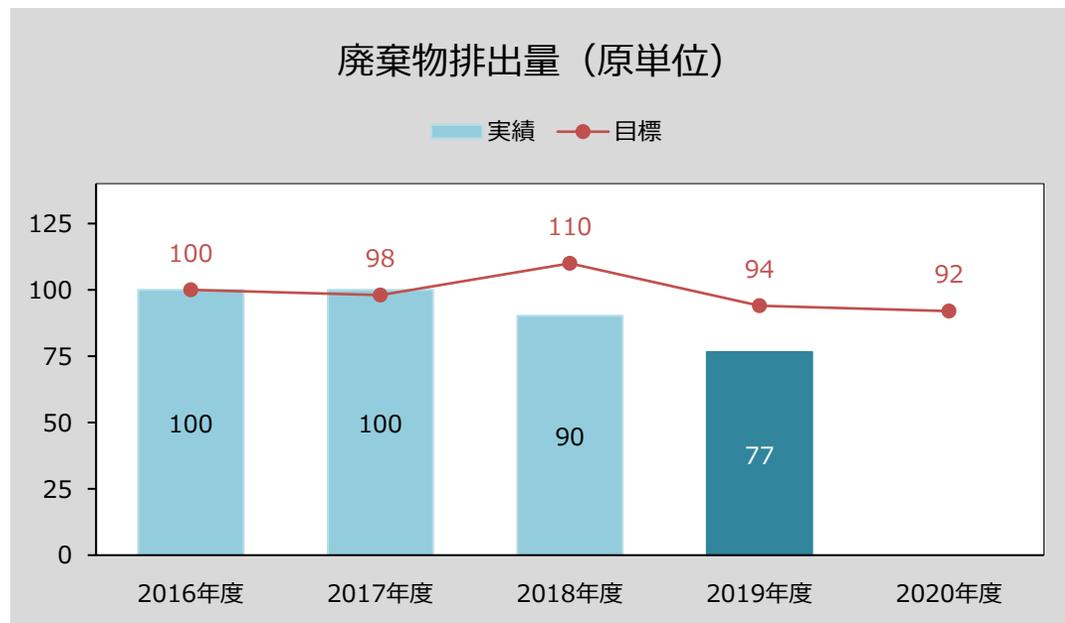
全社における「廃棄物排出量の削減」は、2019年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 専用HPを開設し、社員が廃棄物に関する情報を確認出来る環境を整備
- 廃棄物エリアの表示をより詳細にし誤分別を防止
- 廃棄物データ分析の継続

を実施しました。

結果	本社・本社工場	89.6 t	99.1%
	東京オフィス他	0.8 t	0.9%
	合計	90.4 t	100.0%



リサイクル率の向上

全社（本社・本社工場 + 東京オフィス他）

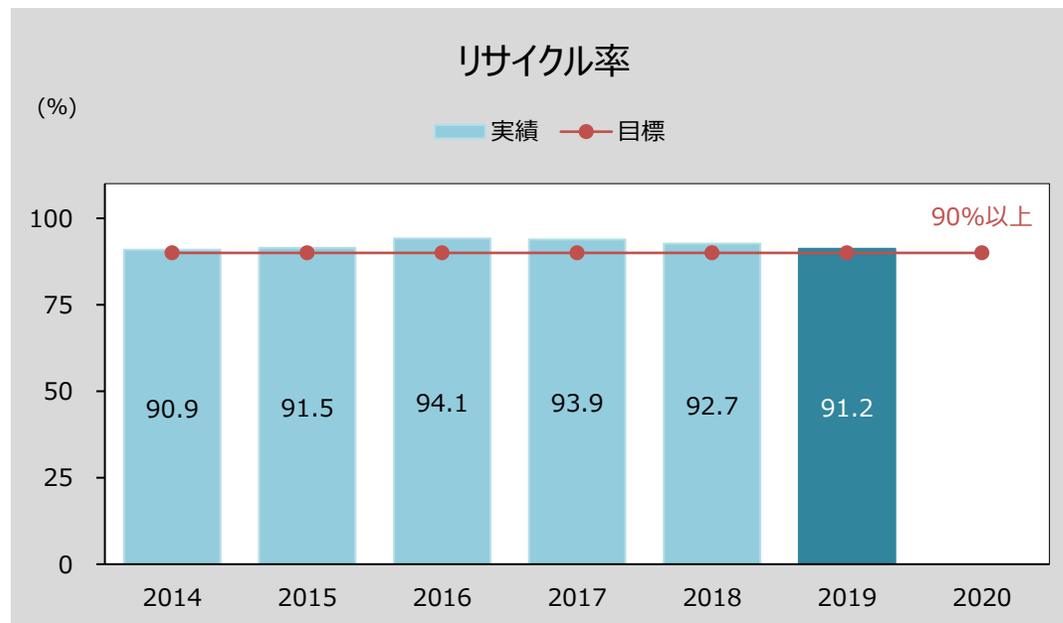
全社における「リサイクル率の向上」は、2019年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 各職場に「リサイクルステーション」を設置
- 分別徹底の推進（リサイクルステーションの監視強化）
- 一般可燃物削減に向けた分別強化

を実施しました。

これにより 90% 以上のリサイクル率を継続達成しています。



水道使用量の削減

本社・本社工場

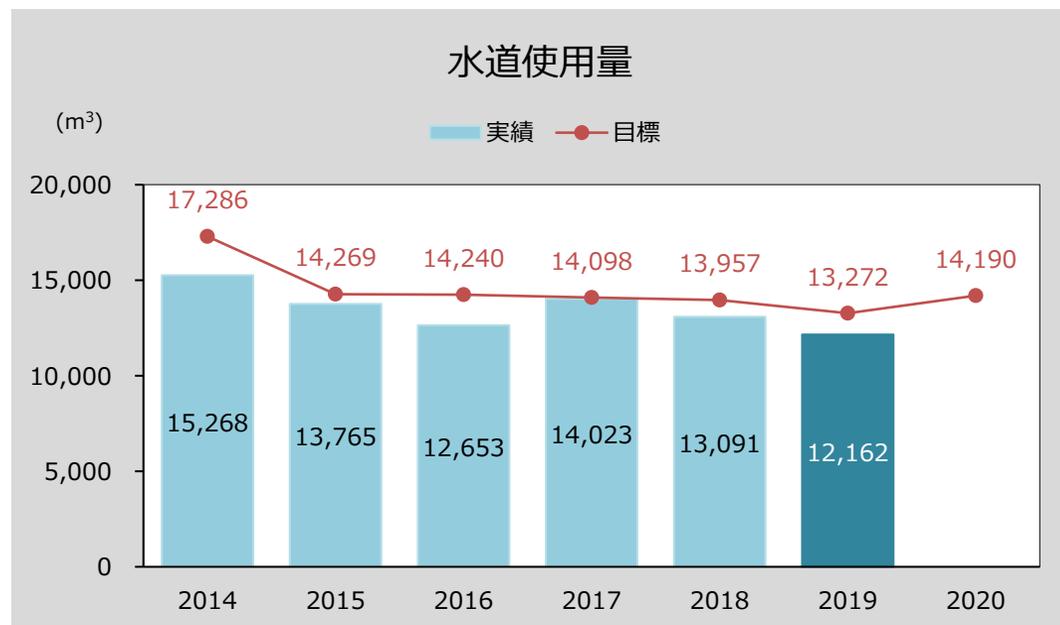
本社・本社工場における「水道使用量の削減」は、2019年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 日常生活での節水の啓発
- 水道蛇口の水量調整を各所洗面台へ展開
- 水量データの計測・分析を行い、漏水の有無と漏水エリアの割り出し

を実施しました。

東京オフィス他においては、テナントビルのため目標管理はせず、節水の啓発のみを実施しました。



グリーン購入率の向上

全社（本社・本社工場 + 東京オフィス他）

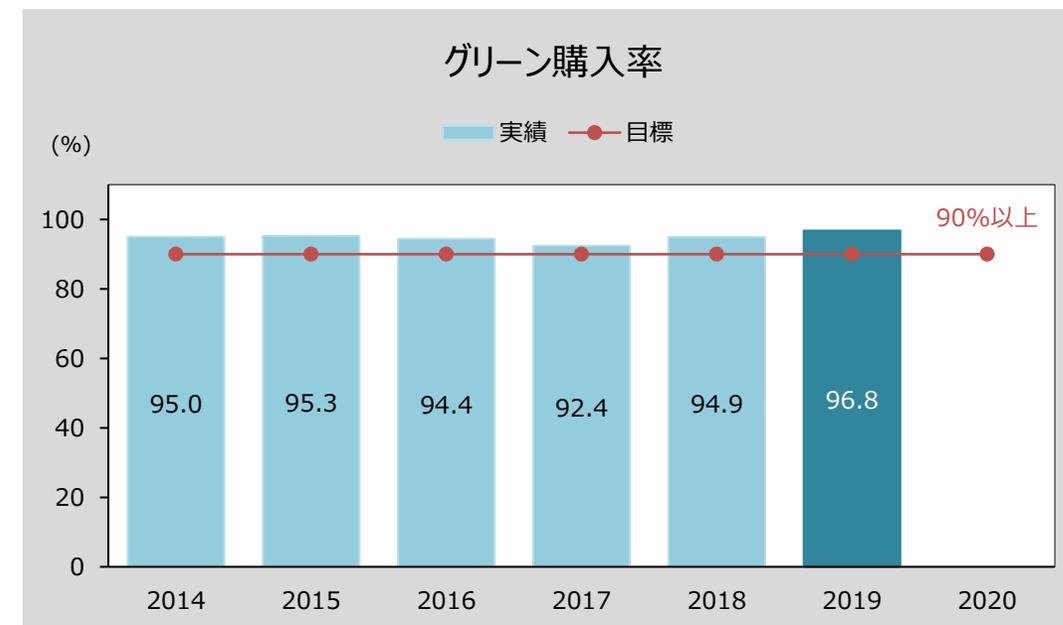
全社における「グリーン購入率の向上」は、2019年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 購入依頼品がグリーン商品であるかチェック
- グリーン商品でない場合、可能な限り変更を促す

を実施しました。

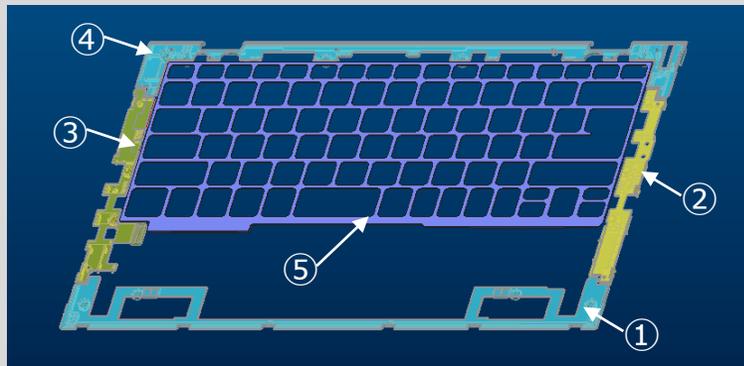
これにより 90% 以上のグリーン購入率を継続達成しています



7. 取り組み事例

事例① “部品の一体化、紙の塩素フリー漂白” ～製造時の環境負荷を低減～

パームレストフレームの5つの部品を一体化



従来
5部品



今回
1部品

効果 製造時CO2排出量 約3.3%削減 ※想定

取扱説明書の“紙”を塩素フリー漂白紙に切り替え

塩素を使用しない漂白

VAIO製品に付属している取扱説明書等の紙をECF漂白パルプに切り替えました。

これにより、
製紙プロセスでの塩素による環境負荷を低減することができました。

※ECF : Elemental Chloride Free



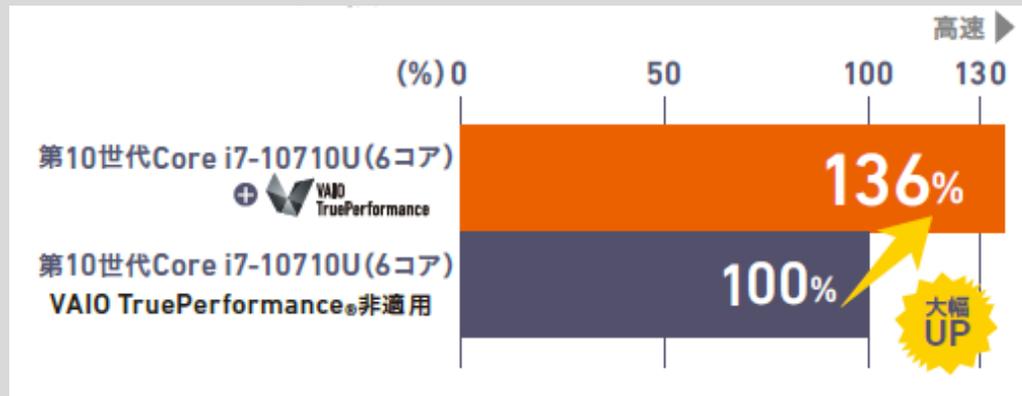
効果 PCグリーンラベルの環境レーティングが
★★☆ (星2つ) → ★★★ (星3つ) ヘランクアップ

事例② “性能向上と消費電力削減” ～相反する課題を両立させる～

PC処理性能の向上

VAIO TruePerformance[®] 適用で持続可能なパフォーマンスを高いレベルで長時間持続できます。また、コンピュータの処理性能を測定するベンチマークテストでは、「VAIO True Performance[®]」適用と非適用で比較すると、処理速度を136%へ向上させることができました。お客様の生産性向上に役立つ設計をしています。

VAIO TruePerformance[®] 適用時/非適用時のパフォーマンス比較



※VAIO SX12/VAIO SX14の場合
MAXON Cinebench Version20.0.6.0でのベンチマークスコア

※VAIO TruePerformance[®]の詳細は <https://vaio.com/magazine/devstory/vol31.html>

低消費電力LCDの採用

VAIO SX14のフルHDディスプレイ搭載モデルにおいては、低消費電力LCDパネルを採用することで、消費電力を大きく削減しました。

これにより、

VJS141（従来モデル）で、約10.6時間のバッテリー駆動時間だったものが、VJS142（新モデル）では、約19.2時間のバッテリー駆動を可能としました。

バッテリー駆動時間の新旧モデル比較



※バッテリー駆動時間（JEITA測定法2.0）

・駆動時間は、搭載されている機能によって記載時間と異なる場合があります。
・JEITAバッテリー動作時間測定法(Ver.2.0)にもとづく駆動時間です。駆動時間は使用状況および設定等により変動します。

事例③ “断熱壁・LED照明・高効率ボイラー” ～CO₂排出量の更なる削減～

断熱壁の設置

これまで製造エリアと部品倉庫エリアは、ビニールシートで簡易的に区切られていましたが、空調ロスを削減するために断熱壁を設置しました。



効果

電力量 ▲6.0%削減

※ 2019年4月～5月/2020年4月～5月での比較

照明のLED化

製造エリア天井の照明を蛍光灯をLED照明385本へ切り替えました。
試算では2年半で投資回収の見込みです。



効果

電力量 ▲2.1%削減

※ 2019年4月～5月/2020年4月～5月での比較

高効率ボイラーへの切り替え

エネルギー棟で使用していたボイラーの老朽化に伴い、環境に配慮した、効率の良い製品への切り替えを行いました。



効果

効率 4.4%向上

※ 旧ボイラーとの比較

事例④ “廃棄物の分別をよりやり易く” ～混ぜればゴミ、分ければ資源～

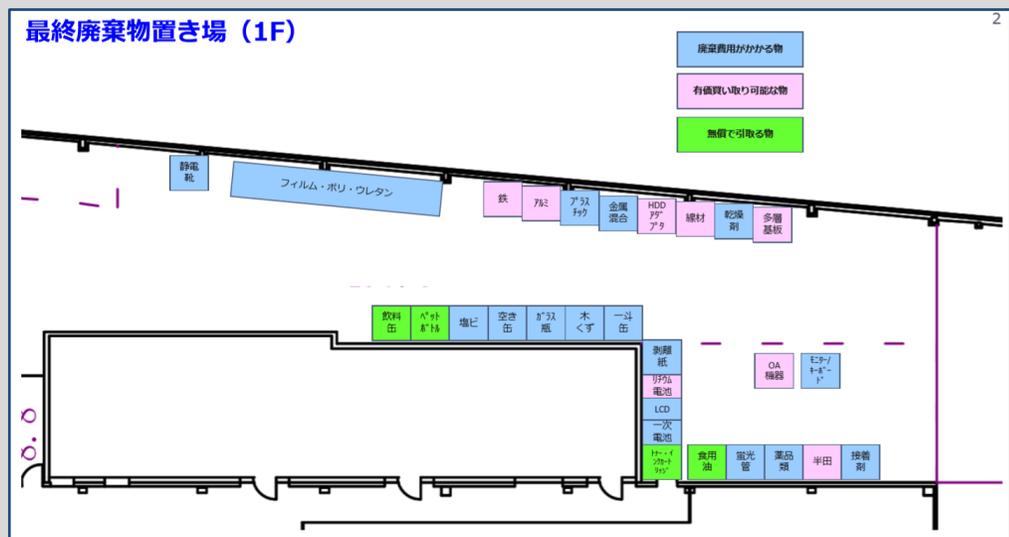
ポータルサイトに廃棄物置き場情報を掲載

これまで、どこへ廃棄すればよいかの問い合わせが多かったため、社内ポータルサイトに廃棄物置き場のMapを掲載しました。

廃棄物の種類ごとの廃棄場所はもちろん、

有価物であるか等の情報を色分けし見易く工夫し、

処理費用も確認できるため、廃棄物に対する意識も向上しました。



使用済みトナーカートリッジをメーカー別に分別

トナーカートリッジ置き場にメーカー別の箱を色分けして設置する事でメーカー別に分別可能となり、各メーカーへリサイクルとして出すことが容易となりました。



事例⑤ “働き方改革の推進” ～自社も他社も「働き方改革」進行中～

社員向け

有給休暇取得の促進

会社として取得奨励日を設定。加えて個人別に計画年次休暇の設定を促すことで有給休暇の取得を促進。

育児目的休暇の導入

男女問わず子育て世代がより働きやすい制度を導入し、取得を推進。

メリハリのある勤務の推進

水曜日を「早残デー」、金曜日を「ノー残デー」とし、当日朝にメールでリマインド。夕方には音楽を流して早目の帰宅を促す。

テレワークの推進

PCをLTEモデルへ入れ替え、SIM提供によるテレワークの推進。

RAS（リモートアクセスサービス）使用許可の拡大。

時間単位でのテレワークも導入。

全社に拡大し可能な範囲で取得を推進。

お客さま向け

「テレワーク(在宅勤務)緊急支援特集」 WEB公開

<https://vaio.com/business/articles/telework/>

新型コロナウイルス感染症によって、働く環境も変化。

VAIO株式会社は、在宅勤務に対応するための情報を発信しています。

- ・テレワーク導入のメリット紹介
- ・おすすめのパソコンの提案
- ・情報漏洩リスク低減ソリューションの提案
- ・助成金情報の紹介

Work×ITセミナー開催

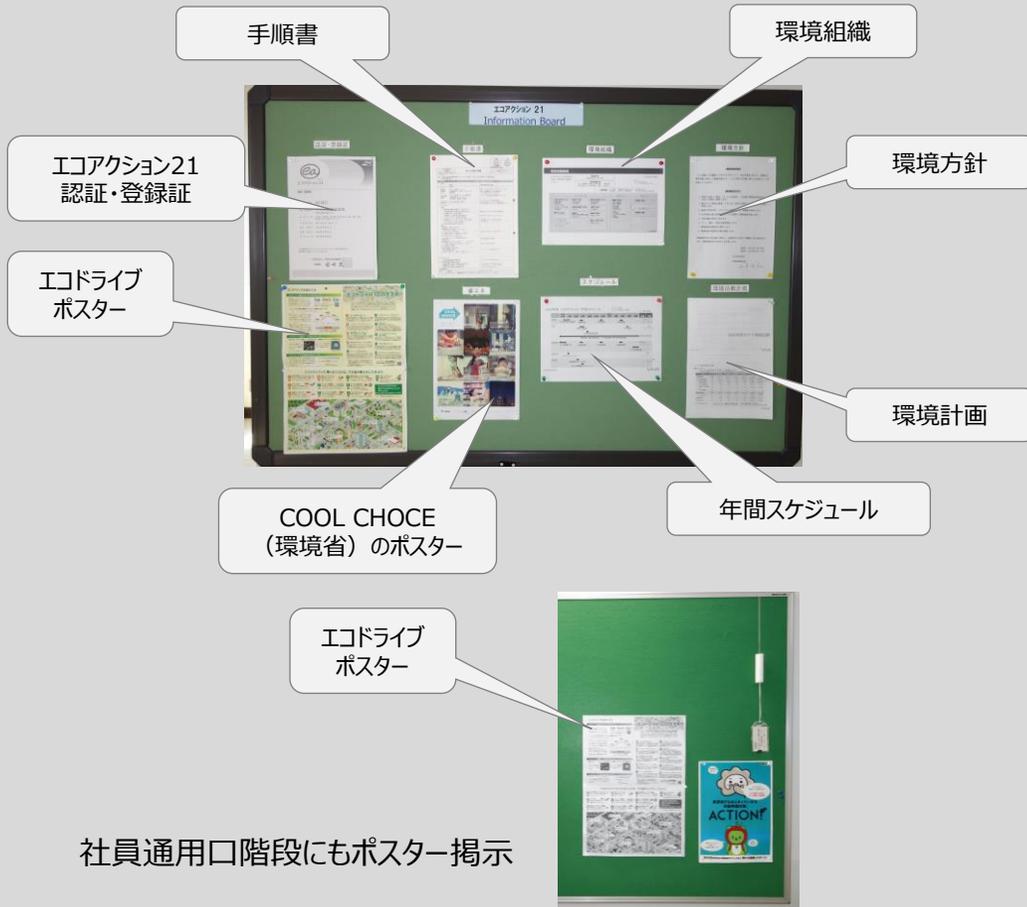
「失敗しないテレワーク実践のコツ」をテーマに実施。



8. 環境コミュニケーション

エコアクション21 Information Board

VAIO株式会社では、全従業員が見ることができるように、社員食堂出口に「エコアクション21 Information Board」を設置しています。



社員通用口階段にもポスター掲示

エコアクション21 ポータルサイト

VAIO株式会社では、従業員向けに「エコアクション21 ポータルサイト」を運用しています。

環境経営方針や手順書など、環境経営に必要な文書や記録などにすぐアクセスでき、内部コミュニケーションに大きく役立っています。



ホームページによる環境情報開示

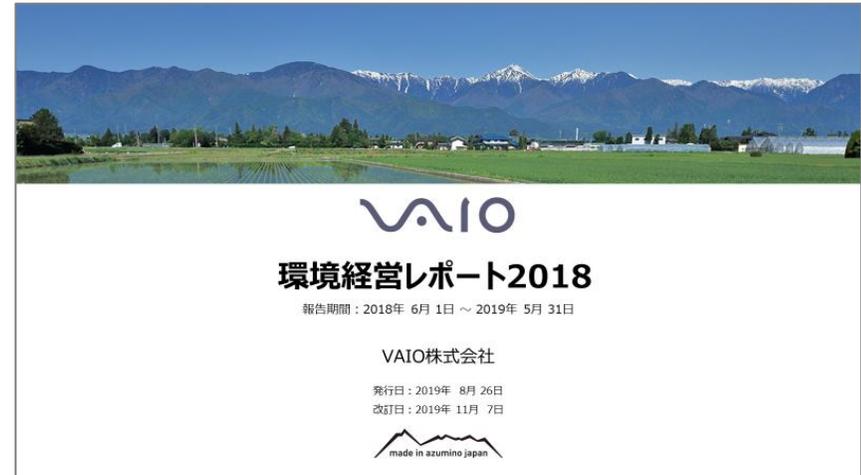
VAIO株式会社における「環境配慮への取り組み」を、ひとりでも多くの方に知っていただくため、弊社ホームページに「環境情報」を掲載しています。

<https://vaio.com/environment/>



「VAIO環境経営レポート2018」が環境コミュニケーション大賞にて優良賞を受賞

VAIO株式会社（本社：長野県安曇野市 代表取締役社長：山本 知弘 以下VAIO）の発行した「VAIO環境経営レポート2018」が、優れた環境報告書等や環境活動レポートを表彰する「第23回 環境コミュニケーション大賞」（環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラムの共催）の環境経営レポート部門において、「優良賞」を2020年2月に受賞しました。VAIOは2014年の設立以来、一貫して環境経営を推進し、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証を取得していますが、同賞へのエントリーは今回が初めてです。「水と緑豊かな安曇野に立地する企業として、身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、永く世界のお客様に愛される商品づくりを目指す」ことを理念として、今後も全社一丸となり環境経営に取り組んでまいります。



＜受賞に際して評価された点（講評抜粋）＞

本業である環境に配慮した製品への取組として、PCの省資源、省エネの中期目標を掲げ、着実に成果を上げている。サイトの環境負荷低減や働き方改革の支援、SDGsへの貢献を目指した環境経営を行っていることが記載されている。特にSDGsへの貢献では17ゴールに対して9ゴールに貢献している。環境負荷の内容、CO₂排出量と廃棄物排出量は原単位で目標と実績を分かりやすく記載している。また、レポートの閲覧がほとんどPC閲覧であるので1ページを1画面で構成し、レイアウト、グラフ書式、文字サイズなどに工夫がみられた分かりやすいレポートである。

9. 環境教育・緊急時対応訓練

環境教育

環境一般教育（2019年9月）

全社員274人受講



電子計算機の省エネ法2019年改正について

（2019年9月）

設計関係者37人受講



環境管理物質管理基準（EM-S303）改定内容説明会

（2019年10月）

設計関係者104人受講



製品環境アセスメントVer.6.0改訂説明会

（2020年1月）

設計関係者15人受講



新人研修（2020年4月）

2020年4月入社の新入社員4人受講



緊急時対応訓練

危険物倉庫入出庫訓練（2019年8月）

化学物質取扱者7人参加

安否確認訓練（2019年8月）

全社員274人参加

施設実務教育（2019年8月）

ファシリティ関係者2人参加

設備不具合・緊急時対応訓練（2019年8月）

ファシリティ関係者4人参加

本社警備室 自主防災訓練（2019年11月）

警備室4人参加

本社防災避難訓練（2019年11月）

本社勤務者、協力会社 計342人参加

東京オフィス避難訓練（2019年11月）

東京オフィス在室2人参加

本社・東京オフィスコロナウイルス感染者発生時訓練（2020年3月）

人事総務関係者 計9人参加

10. 社会貢献活動

社会科見学の受け入れ

VAIO株式会社では、近隣小学校の社会科見学を受け入れています。

2019年度は、9校（571名）を受け入れましたが、一般の方は滅多に見る事の出来ない製造ラインやパソコンの歴代モデルを目の当たりにして、驚きを隠せない様子でした。

見学中は座学でのおさらいをクイズ形式で出題しスタンプラリーと合わせて実施し、皆楽しく学べていました。



食堂廃油を「障害福祉サービス施設」へ提供

社員食堂から出る廃油“天ぷら油”を施設にて引取り。

施設では、これらを家畜飼料に加工しています。



ペットボトル・空き缶を「障害者就労施設」へ提供

社内から出る飲料用の“ペットボトル”および“空き缶”を施設にて引取り。

施設では、これらを分別・減容・圧縮しリサイクル工場へ出荷しています。



地域美化清掃活動に社員47人が参加

VAIO株式会社は、年2回（5月、10月）開催される「安曇野市豊科地区一斉清掃」に会社として参加しています。

始業前の約1時間、会社周辺道路や公共施設でのゴミ拾いを実施しています。（新型コロナウイルス感染防止の影響で2020年5月の実施は延期となりました）

2019年11月1日 47人参加

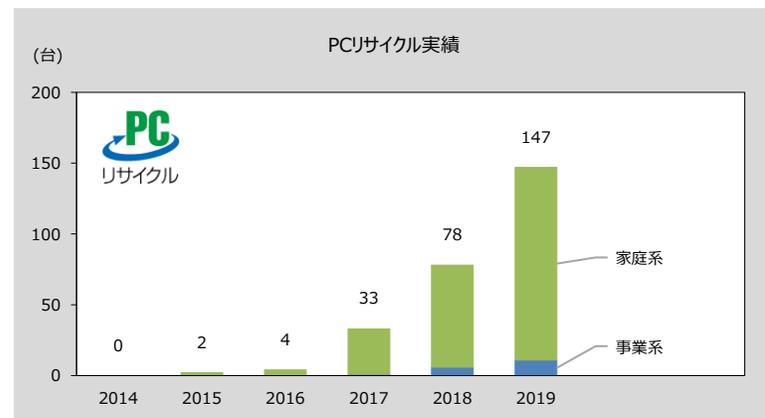


11. 使用済み製品のリサイクル

パソコンリサイクル

VAIO株式会社では、「資源有効利用促進法」に基づき、ご不要となった弊社製パソコンの回収・再資源化を行っています。

弊社製パソコンは「PCリサイクルマーク」を表示しておりますので、お客さまに新たな料金をご負担いただくことなく、弊社が回収・再資源化いたします。

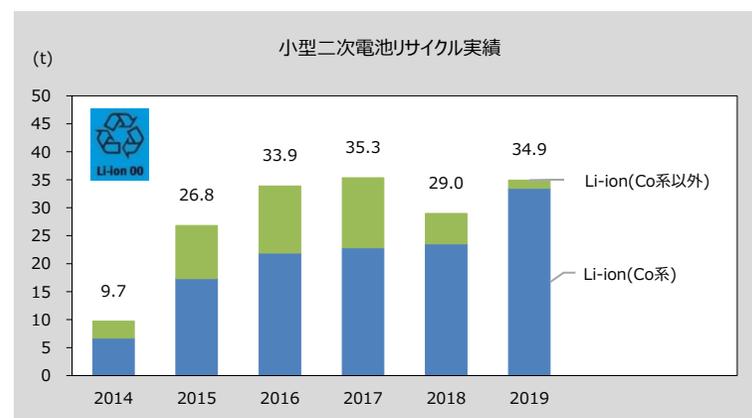


家庭系/事業系	回収・再資源化台数
事業系	11 台
家庭系	136 台
合計	147 台

バッテリーリサイクル

製品に用いられている充電式電池（バッテリー）には、リサイクル可能な希少金属材料が使用されています。

VAIO株式会社では、「資源有効利用促進法」に基づき、製品に搭載している充電式電池（バッテリー）の回収・リサイクルの推進に努めています。



電池種別	リサイクル委託重量
Li-ion (Co系)	33.5 t
Li-ion (Co系以外)	1.4 t
合計	34.9 t

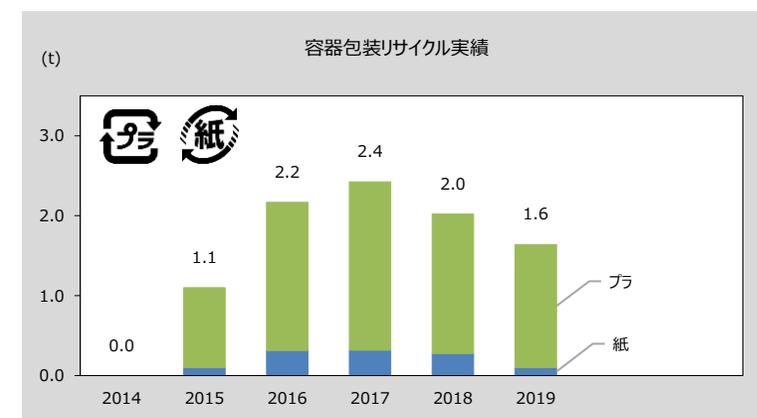
VAIO株式会社は、一般社団法人 パソコン3R推進協会 の会員です。

VAIO株式会社は、一般社団法人 JBRC の会員です。

容器包装リサイクル

VAIO株式会社では、「容器包装リサイクル法」に基づき、容器包装の再商品化の推進に努めています。

弊社製品に用いられている容器包装には、「資源有効利用促進法」に基づき、識別マークを表示しています。



素材	再商品化委託重量
紙製容器包装	0.1 t
プラスチック製容器包装	1.5 t
合計	1.6 t

VAIO株式会社は、公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会 の会員です。

12. 環境関連法規制の遵守評価

製品およびサイトに関する環境関連の法令、規則、条例等の遵守評価の結果、すべて遵守していることを確認しました。

また、会社設立以来、違反、訴訟および勧告等の発生はありません。

※遵守評価結果 ○：遵守

法規制	遵守評価結果
大気汚染防止法	○
安曇野市公害防止条例	○
騒音規制法	○
長野県公害防止条例（告示）	○
水質汚濁防止法	○
高圧ガス保安法	○
消防法	○
オゾン層保護法	○
廃掃法（産業廃棄物）	○
廃掃法（特別管理産業廃棄物）	○
廃掃法（一般廃棄物）	○
工場立地法	○
長野県景観形成条例	○

法規制	遵守評価結果
家電リサイクル法	○
建設資材リサイクル法	○
下水道法	○
フロン排出抑制法	○
資源有効利用促進法	○
小形家電リサイクル法	○
容器包装リサイクル法	○
省エネ法	○
化審法	○
化管法	○
グリーン購入法	○
水銀環境汚染防止法	○

13. 環境マネジメントレビュー

入力項目	環境責任者（代表取締役社長）への入力内容	環境責任者（代表取締役社長）コメント
環境経営方針	内容継続で承認	問題なし
環境活動組織	全組織を対象 全社組織変更に伴い、環境組織を13部門体制へ変更	問題なし
環境経営目標・計画の達成状況 製品環境負荷低減活動	<p>・2019年度の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 製品本体重量の削減 モバイルPC：○ A4フルノート：○ ② 年間消費電力の削減 モバイルPC：○ A4フルノート：○ ③ オフ時消費電力の削減 全てのPC：○ ④ PVCフリー・BFRフリー・ハロゲンフリー化 全てのPC：○ <p>・取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6コアCPUとVAIO TruePerformance®の組み合わせで性能アップ ・低消費電力LCDへの切り替えで省エネ化 ・再生プラスチック導入開始 ・欧州RoHS指令の改正に対応 ・パームレストフレームの5つの部品を一体化 ・取扱説明書の“紙”を塩素フリー漂白紙に切り替え 	環境配慮と性能、機能、商品性はトレードオフの関係になるケースが多いが、環境事務局も世間の取り組み・状況を調べ、設計に紹介していくことで、引き続き設計のコーチ役として活動して欲しい。
サイト環境負荷低減活動	<p>・2019年度の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ① CO2排出量の削減：○ ② 廃棄物排出量の削減：○ ③ リサイクル率の向上：○ ④ 水道使用量の削減：○ ⑤ グリーン購入率の向上：○ <p>・取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3G1F 断熱用壁設置 ・製造フロア照明LED化 ・高効率ボイラーの導入、 ・HPへ廃棄物情報を掲載し現場での掲示 	<p>CO2原単位が100から63に減ったことは素晴らしい結果である。原単位管理は売り上げによって増減し、2019年度は売り上げが多かった事も目標達成に貢献している。</p> <p>CO2排出量の85%が電力量である事から、電気使用量を削減する事が重要と考える。</p> <p>他社と比較し、VAIOのレベルを知り、省電力を進める上で、その為にかかるエネルギーも含めより高いレベルの活動を盛り込んで欲しい。</p>
SDGs および働き方改革への取り組み状況	<p>・SDGsへの取り組み</p> <p>VAIO(株)として、SDGsの17のゴールの内9項目に取り組んでいる</p> <p>・働き方改革への取り組み</p> <p>社員向け： ・有給休暇取得の促進 ・育児目的休暇の導入</p> <p>・メリハリのある勤務の推進 ・テレワークの推進</p> <p>お客さま向け： ・「テレワーク(在宅勤務)緊急支援特集」WEB公開</p> <p>・Work x IT セミナー開催</p>	<p>VAIOとしてSDGs全体に対して意識を持つ必要があると考えている。</p> <p>VAIOブランドの取組の中で共存共栄・循環といった要素を入れ込みたいと考えているので、エコアクションの活動を強化したいと思っている。VAIOのあるべき姿や方向性に対する意見・提案・質問があれば出してほしい。</p> <p>また里山PJなどを実施するのであれば、会社としても支援する。</p>

インプット項目	環境責任者（代表取締役社長）へのインプット内容	環境責任者（代表取締役社長）コメント
環境マネジメントシステムの運用・改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・文書の制定・改訂状況：問題なし ・製品環境アセスメント：Ver.6.0リリース、全モデルの製品環境アセスメント完了 ・環境管理物質管理基準：Ver.5.0リリース、全サプライヤーへ配信完了 ・環境関連法規制新規/改正等の対応：問題なし ・使用済み製品のリサイクル実績：PC:増加 バッテリー:増加 包装:減少 ・エコアクション21更新審査：ガイドラインに適合 ・環境教育・訓練：13項目の教育・訓練を実施 	問題なし
遵守評価の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・製品環境：すべて遵守していることを確認 ・サイト環境：すべて遵守していることを確認 	問題なし
問題点の是正・予防状況	<ul style="list-style-type: none"> ・製品環境：0件 ・サイト環境：1件（冷却塔R1付帯設備 クールネットシステムより内部の濾過材流出） 	既に報告を受けているので問題なし
環境内部監査の結果	EA21ガイドライン2017に適合を確認	問題なし
利害関係者（顧客や地域住民、行政など）からの要望事項	<ul style="list-style-type: none"> ・要望事項：外部からの要望事項なし。 ・外部コミュニケーション：問い合わせなどにも適切に対応 ・「VAIO環境経営レポート2018」が環境コミュニケーション大賞にて優良賞を受賞 	問題なし
社会貢献活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域美化清掃活動に社員約50人が参加 ・長野県内の小学校 9校 571人が工場見学 ・食堂廃油（天ぷら油）を障害福祉サービス施設へ提供 ・使用済 ペットボトル・空き缶を障害者就労施設へ提供 	問題なし
その他重要と思われる情報	今回は特になし	特になし



環境責任者（代表取締役社長）による全体評価		見直し指示
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 変更必要 <input checked="" type="checkbox"/> 変更不要	継続してください。
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更必要 <input type="checkbox"/> 変更不要 <input checked="" type="checkbox"/> 検討必要	他社と比較しVAIOのレベルを知り、省電力を進める上で、その為にかかるエネルギーも含めより高いレベルの活動を盛り込んで欲しい。 VAIOとしてSDGs全体に対してVAIOブランドの取組の中で共存共栄・循環といった要素を入れ込みたいと考えているので、エコアクションの活動を強化するためにVAIOのあるべき姿や方向性に対する意見・提案・質問があれば出してほしい。
実施体制	<input type="checkbox"/> 変更必要 <input checked="" type="checkbox"/> 変更不要	継続してください。



「VAIO環境経営レポート2019」を最後までお読みいただきありがとうございます。

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、
身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、
永く世界のお客様に愛される商品づくりを目指していきます。

